

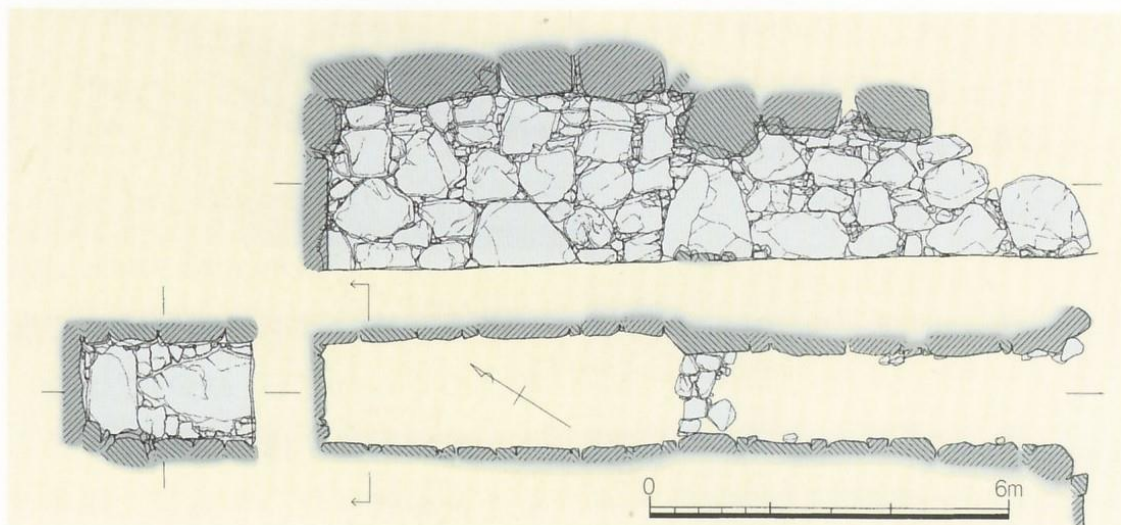
1号墳

願成寺西墳之越1号墳は、直径18m、高さ約4mの円墳で、全長12.69mの巨石を使った横穴式石室を持っています。石室は古墳群中で最大、県下でも10指に入る大きさを誇り、この古墳群の中でも最も有力な地位にあった人物が築いたものと思われます。



1号墳の石室入口

昭和43年に2号、66号墳と共に発掘調査を行いました。石室は早くから内部が荒らされていたようで、古墳に伴う遺物は破片がほとんどでした。



1号墳横穴式石室実測図

しかし、破片の中には装飾付蓋や器台などの希少な須恵器が見られ、墳丘や石室規模に違わない有力な地位の人物が埋葬されていたことを物語っています。他に石室内からは木製の棺に打ち付けられていた鉄釘が出土しています。

築造は6世紀末～7世紀初頭頃で、7世紀中頃と8世紀初頭に追葬があったと考えられます。